

スーパーやドラッグストアなどで使える

非課税者は11月29日まで

消費税率10%引き上げに伴い、住民税が非課税の人や子育て世帯が購入できるプレミアム付商品券を販売しています。5000円分を4000円で購入でき、最大2万5000円分を2万円で購入できます。購入には引換券が必要です。

非課税者

平成31年度の住民税の課税がない人。ただし、住民税の課税がある人に扶養されている人などは対象外です。

対象者には、7月中旬に申請に必要な書類を郵送していただきます。

申請の手続きが済んでいない人は、11月29日(金)までに郵送(消印有効)するか、本庁舎3階会議室に提出してください。後日、引換券を郵送します。

子育て世帯主

平成28年4月2日から令和元年9月30日までに生まれた子どもを持つ世帯主。購入限度額は、子ども1人につき2万円(額面2万5000円分)。9月から順次、引換券を郵送しています。

市内750店舗で使用可能

購入したプレミアム付商品券は、大型商業施設やスーパー、ドラッグストア、飲食店など市

商品券販売場所

- 10月6日(日)まで
本庁舎2階くろみホール、各総合支所
- 10月7日(月)から来年3月22日(日)まで
ゆめタウン久留米、中央通・東櫛原・長門石・田主丸・北野郵便局、コスモすまいる北野、城島げんきかん、みづま総合体育館

時間や休業日などは、引換券に同封しているチラシで確認してください

**プレミアム付商品券
コールセンター**
☎0942・65・8945

■期間 来年3月31日(火)まで
■時間 平日9時～17時

内の約750店舗で使えます。使用期限は、来年3月31日(火)まで。取扱店は、市ホームページや本庁舎1階行政資料コーナー、各総合支所、各市民センターに準備しているパンフレットで確認できます。

この商品券は、市内の商工団体が発行している10%のプレミアム付商品券ではありません。①プレミアム付商品券事業実施プロジェクト(☎0942・30・9156、FAX0942・30・9737)



プレミアム付商品券PRキャラクター「カクニヤン」(内閣府)



市ホームページ
プレミアム付商品券へ
詳しくはQRコード



プレミアム付商品券取扱店舗へ
詳しくはQRコード

芳醇な色と香りを満喫

10月中旬～11月下旬が見頃

10月19日(土)から石橋文化センターで「秋のバラフェア2019」が開催されます。400品種・2600株のバラが咲き誇ります。秋のバラは一年の中でも色鮮やかで、最も美しいと言われています。

バラの植え方・育て方などの実演やバラを描く絵画教室など、バラにちなんだイベントやコンサートを楽しめます。ほかにも、マルシェ&カフェやス



休日には多くの人でにぎわいます

タンブ&クイズラリー、数量限定のバラ苗販売もあります。期間限定のバラのソフトクリームは、バラの香りとバラの相性が抜群です。

11月2日(土)、3日(日)の11時から15時まで坂本繁二郎旧アトリエが特別公開されます。

■日時 10月19日(土)から11月17日(日)までの10時～17時
■休館日 月曜。11月4日(休)は開館
①石橋文化センター(☎0942・333・2271、FAX0942・339・7837)



市美術館前のバラ園に咲く「かがやき」



石橋文化センター
秋のバラフェア
詳しくはQRコード

くるめ学生通信

大学生が、久留米市の仕事取材し、発信するシリーズです。

45 自治会の役割って?

今回の記者: 聖マリア学院大学(3年)堀内咲良さん



毎週のように各地域でイベントや活動が行われています

私が住む地域の祭りやイベントは自治会が開催しているって聞きましたが、「自治会」のことをよく知らなかったの、地域コミュニティ課の今村貴史さんに話を聞きました。

——そもそも自治会ってなんですか?

久留米市には小学校区単位で地域づくりを行う校区「コミュニティ組織」があります。その中で、より身近で生活に根付いた活動を行う団体が自治会です。約670団体あり、同じ地域に住む子どもから高齢者までみんなが協力して、より良い地域をつくるために活動しています。

——具体的にはどんな活動をしているのですか?

地域の運動会や夏祭りなどがおなじみですが、住民の皆さんが気持ちよく日常生活を送るために、地域の清掃や資源ごみ回収の立ち番なども行っています。また、防災訓練や防犯灯の設置・管理、登下校の見守りやパトロールなど、安心して暮らせるよう地域で協力しながら活動しています。



自治会の取り組みが分かるチラシもたくさん

——なぜこのような活動が必要なのですか?

現代は少子高齢化や核家族化が進み、ライフスタイルが変化してきたことで、隣近所の人間関係が希薄化している傾向があります。そのため、困ったことがあっても、気軽に相談できる人が周囲に居ないという状況も珍しくありません。

——地域の活動には誰でも参加できますか?

もちろんです。さまざまなイベントや活動に参加して交流を深めてください。普段から少しずつ参加することで、災害などの緊急時にも「いつものように」助け合える関係が自然とできていくと思うので、より多くの人に参加してほしいですね。



夜道を照らす数多くの防犯灯の設置や管理も自治会が行っています

——今回の取材で、自治会は祭りなどのイベントから日頃の清掃まで、多種多様な活動をしているのを知りました。活動を通して自分が住む地域や周囲の人のことを知り、みんなで住みやすい地域にする。こうして地元をもっと好きに、大切にできるのだと感じました。

①広報戦略課(☎0942・30・9119、FAX0942・30・9702)